



### エナメル質の修復保存・知覚過敏治療・審美用マウスピースの開発

キーワード

ハイドロキシアパタイト、薄膜、転写、エナメル質修復、象牙質知覚過敏、審美歯科、マウスピース

【研究内容の概要】 二度と再生しないエナメル質を歯と同じ素材で修復・保存でき、かつ知覚過敏の治療、歯を審美できるマウスピースを開発しました。



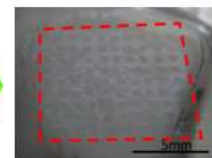
実用化; HApシートの量産化と低価格化



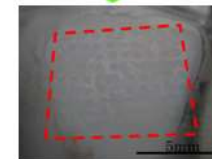
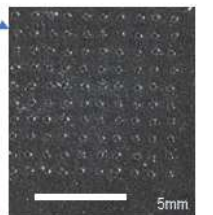
転写手順



実施結果



72.3%の転写を確認



69.3%のACP薄膜の残存を確認

特徴/効果

- ・量産性⇒結晶化プロセスを必要としない**非晶質リン酸カルシウム(ACP)**シートを用いる
- ・取扱い性⇒マウスピースが**高分子保護シート**としてACPシートを保護するため取扱い性向上
- ・実用性⇒非接着性の**高分子マウスピース**を用いて一度に多数の歯にACPシートを**転写**してエナメル質を修復できる
- ・安全性⇒歯や骨の主素材を用いるので、レジンのような**アレルギー反応はなく安全**

利用/用途

- ・歯のエナメル質の修復・保存しながら、知覚過敏の治療および審美が同時に行えるマウスピースを提供可能
- ・これまで治療法がなかった酸蝕、咬耗、摩耗という非細菌性の歯質の欠損であるTooth Wearの治療と抑制法を提供可能

知的財産権等情報

近畿大学

本津 茂樹

特許出願

WO2020/158701

URL

<https://www.kindai.ac.jp/bost/>

論文等

0 編

連絡先：近畿大学 リエゾンセンター(KLC)

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

E-mail : [klc@kindai.ac.jp](mailto:klc@kindai.ac.jp)

TEL : 06-4307-3099 FAX : 06-6721-2356

URL : <http://www.kindai.ac.jp/liaison/>